

# 魅力ある快適空間

平成19年(2007年)12月

## アーバンスクエアを創るアリスカ

# 会社説明会資料

平成20年3月期 中間期



株式会社 **アリスカ**

<http://www.arisaka.net/home.html>



Urban SQUARE

Urban BOWL



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しにのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

# コンテンツ

## 独立系アミューズメント施設の運営会社として 九州から、そして全国へ

コンテンツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

### 会社概要

会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・P4

事業の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・P5

### 事業内容

H19年11月までの状況・・・・・・・・P7

年度別ゲーム市場の規模と店舗数・・・・・・P8

業界順位（アミューズメント施設）・・・・・・P9

出店戦略・・・・・・・・・・・・・・・・P10

事業別店舗数推移と見込み・・・・・・・・P11

店舗の状況（平成19年9月現在）・・・・・・P12

平成20年3月期 業績予想・・・・・・・・P13

今後の業績予想・・・・・・・・・・・・P14

これまでの利益還元の状況・・・・・・・・P15

### 中間決算概要

中間貸借対照表・・・・・・・・・・・・P17

中間損益計算書・・・・・・・・・・・・P18

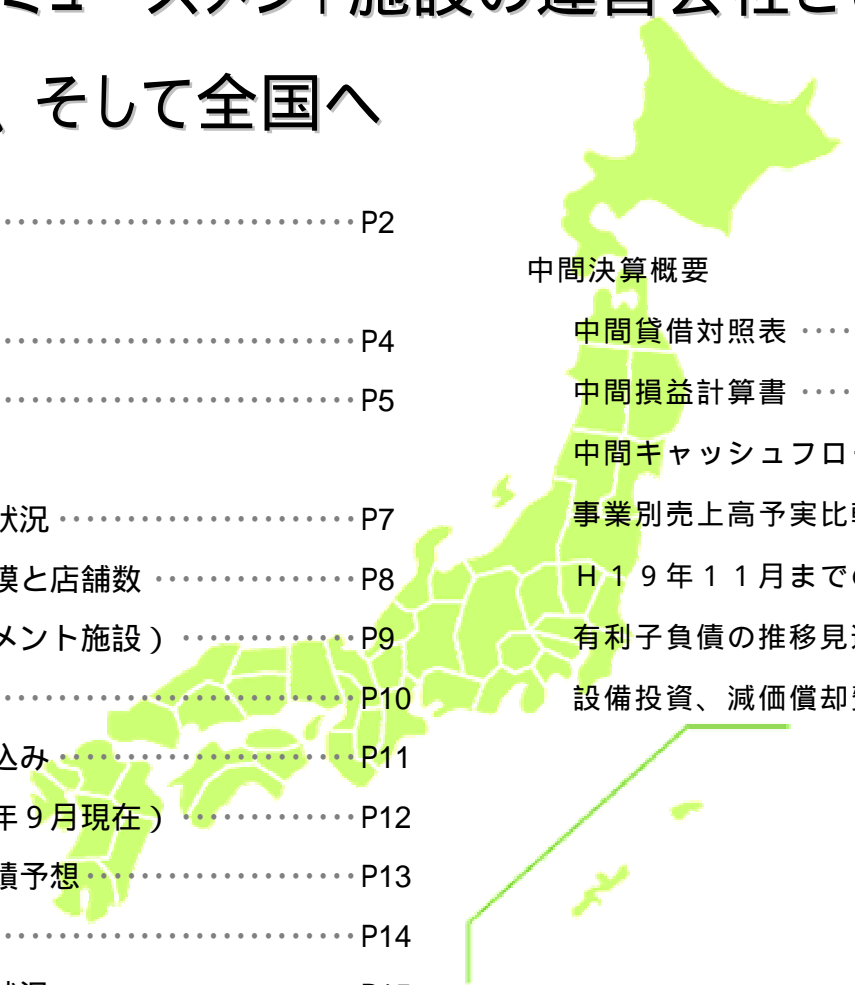
中間キャッシュフロー計算書・・・・・・P19

事業別売上高予実比較・・・・・・・・P20

H19年11月までの月次売上状況・・・・・・P21

有利子負債の推移見込み・・・・・・・・P22

設備投資、減価償却費の推移・・・・・・P23



# 会社概要



宮崎本社（宮崎市）



東京事務所（港区浜松町）



## 事業の沿革

- ◆ 昭和53年 ゲーム機械のレンタル業を開始
- ◆ 昭和63年 福岡市にゲーム・カラオケ店の直営1号店  
開設以後、ゲーム店舗を増設
- ◆ 平成 4年 バッティング センターを事業に加える
- ◆ 平成 6年 ボウリングセンターを事業に加える
- ◆ 平成10年 スーパー銭湯を事業に加える
- ◆ 平成19年 カラオケ事業撤退  
スーパー銭湯事業縮小(4店舗から1店舗へ)

あくまでゲーム事業が主力、他の事業部門はゲーム  
事業の集客目的として位置づけ

# 事業内容



# H19年11月までの状況

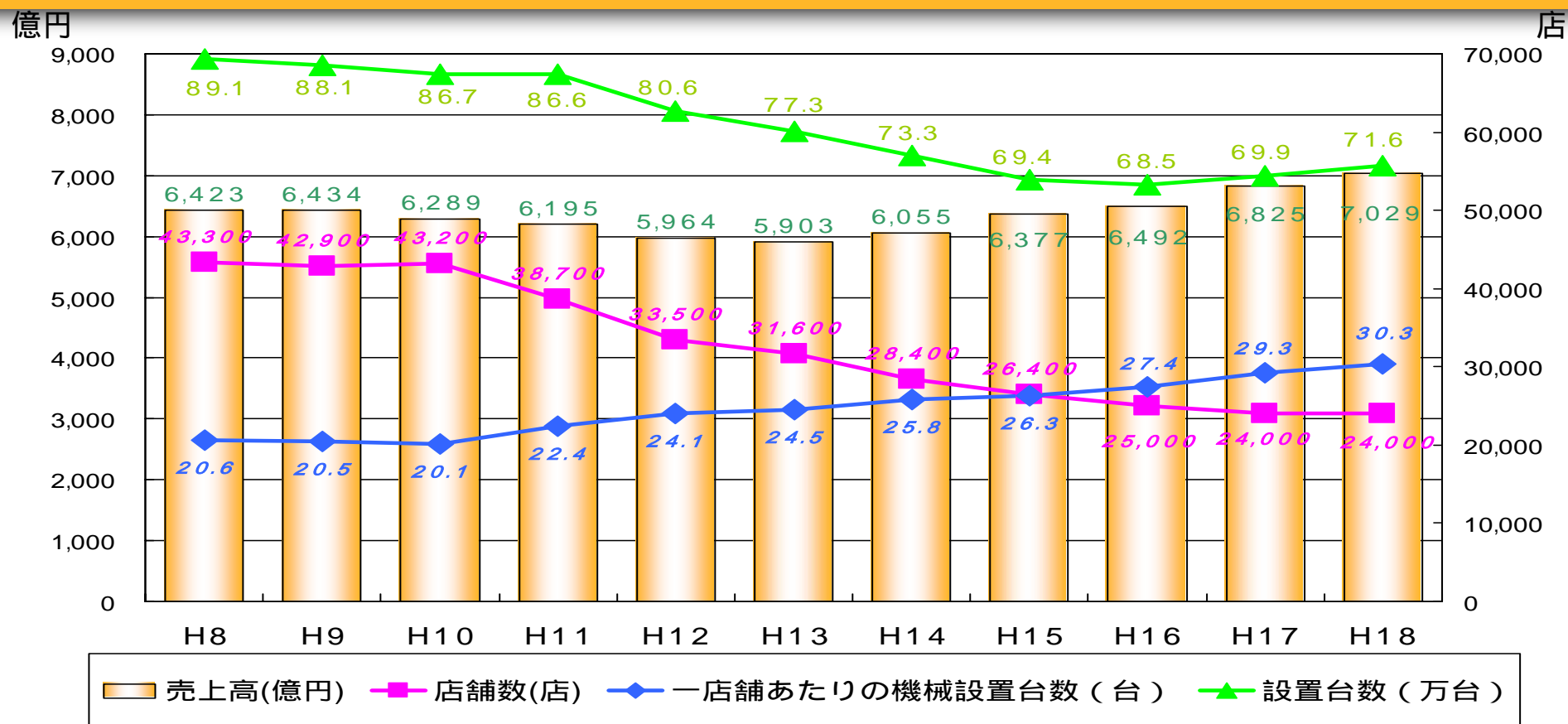
## ■ 新設した店舗、部門

- ・ H19年 4月 アーバンスクエア須賀川店 (福島県須賀川市)  
【ゲーム】
- ・ H19年10月 ジョイプラザ印西市 (千葉県印西市)  
【ゲーム、ボウリング、その他】
- ・ H19年11月 アーバンスクエア成東店 (千葉県山武市)  
【ゲーム】

## ■ 閉鎖した店舗、部門

- ・ H19年 9月 アーバンスクエア 西部スポーツガーデン店 (福岡県福岡市)  
【カラオケ部門を閉鎖】
- ・ H19年 9月 ジョイプラザ新宮店 (福岡県糟屋郡新宮町)  
【カラオケ部門を閉鎖】

# 年度別ゲーム市場の規模と店舗数



- 店舗数は、平成8年度の約4万3,300店から平成18年度には約2万4,000店に大幅減少
  - 1店舗で100台を超える大型店舗が増加し、店舗の大型化傾向に拍車
  - スクラップアンドビルドが加速
  - 企業間格差がますます広がる傾向
- } 淘汰が進み企業数、店舗数ともに減少予想

資料出典 アミューズメント産業界の実態調査報告書から(毎年9月下旬に発行)

# 業界順位 [アミューズメント施設]

(単位:百万円)

順位	会社名	売上高	決算月	市場占有率
1	(株)セガ	103,850	3月	14.8%
2	(株)ラウンドワン	61,321	3月	8.7%
3	(株)ナムコ	59,025	3月	8.4%
4	(株)イオン・ファンタジー	48,905	2月	7.0%
5	(株)タイト -	43,146	3月	6.1%
6	(株)ファンフィールド	18,667	2月	2.7%
7	(株)アドアーズ	16,869	3月	2.4%
8	(株)カプコン	13,043	3月	1.9%
9	(株)ワイドレジャー	11,845	2月	1.7%
10	(株)ザ・サ - ドプラネット	9,912	3月	1.4%
上位10社の合計		386,583		55.0%
13	(株)アリサカ	8,595	3月	1.2%

上位10社の内、4社はゲーム機器メーカー、2社は大手流通系の会社

- (注)1. 上記売上高は、サービス業総合調査のアミューズメント施設のみの売上高であります。  
 2. 資料………(平成19年11月14日付 日経MJ記載)。  
 3. 市場占有率・アミューズメント施設の市場売上高に対して算出しております。  
 (市場規模:平成18年3月期702,900百万円…資料アミューズメント産業界の実態調査報告書)

# 出店戦略

## ■ 出店方針

- ◆ 大型ゲーム単独店を中心にゲーム事業を主体にボウリング事業等の他事業との複合施設の開設を進める。

年間3～4店舗前後の出店を計画

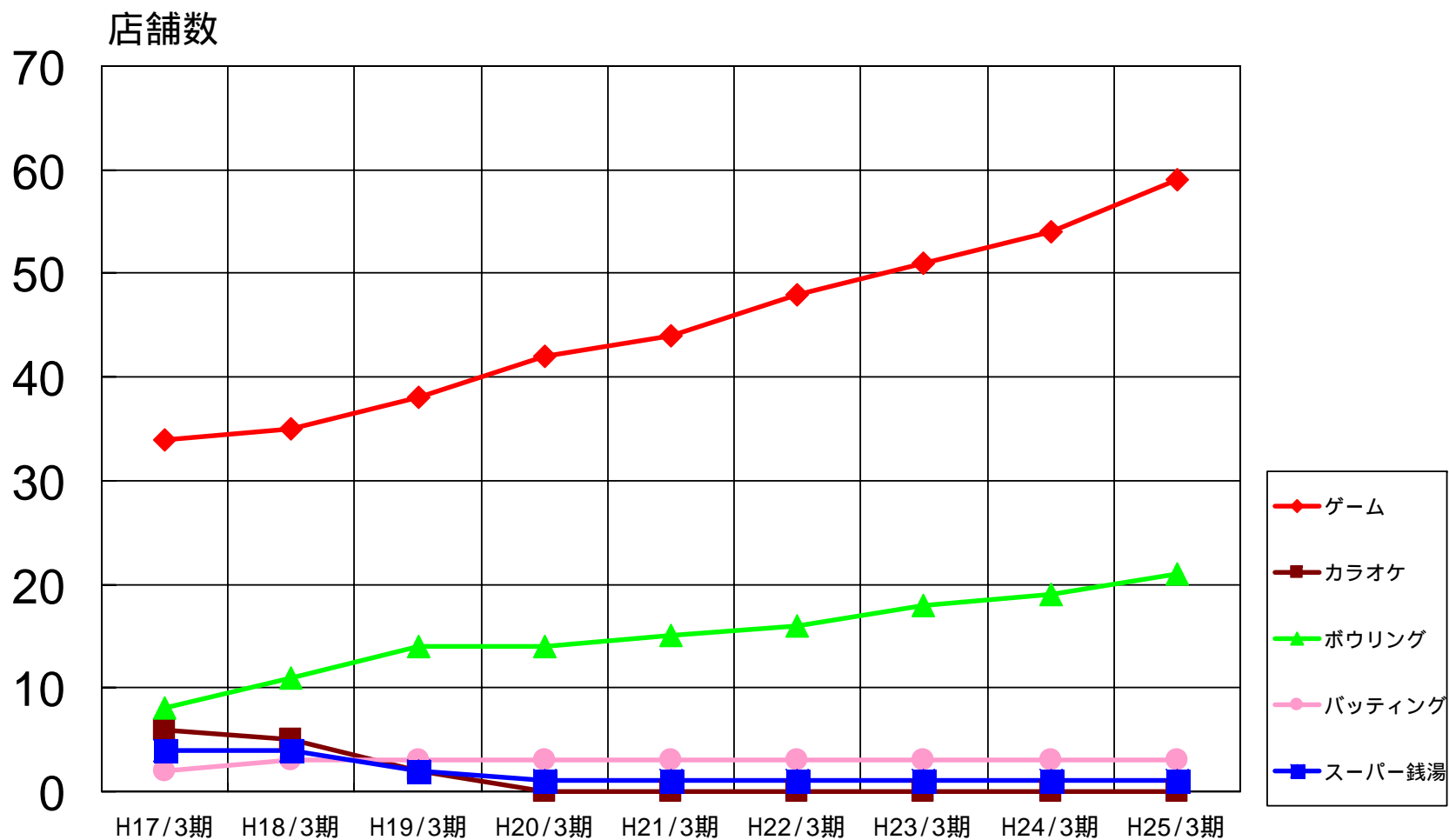
- ◆ 大都市圏に限らず集客力のある地域の出店も推進
- ◆ 新規大型店については、積極的に資産の流動化を検討する
- ◆ M & Aも積極的に検討し、業容拡大を図る
- ◆ 既存の自社所有店舗を売却し、リースバック方式によるオフバランスを実施する。
- ◆ 設備負担を抑えるため賃借方式による出店を基本とする
- ◆ スクラップ&ビルドにより事業の効率化を図る

不効率店及び不効率部門の閉鎖を積極的に実施

## ■ 投資回収年月

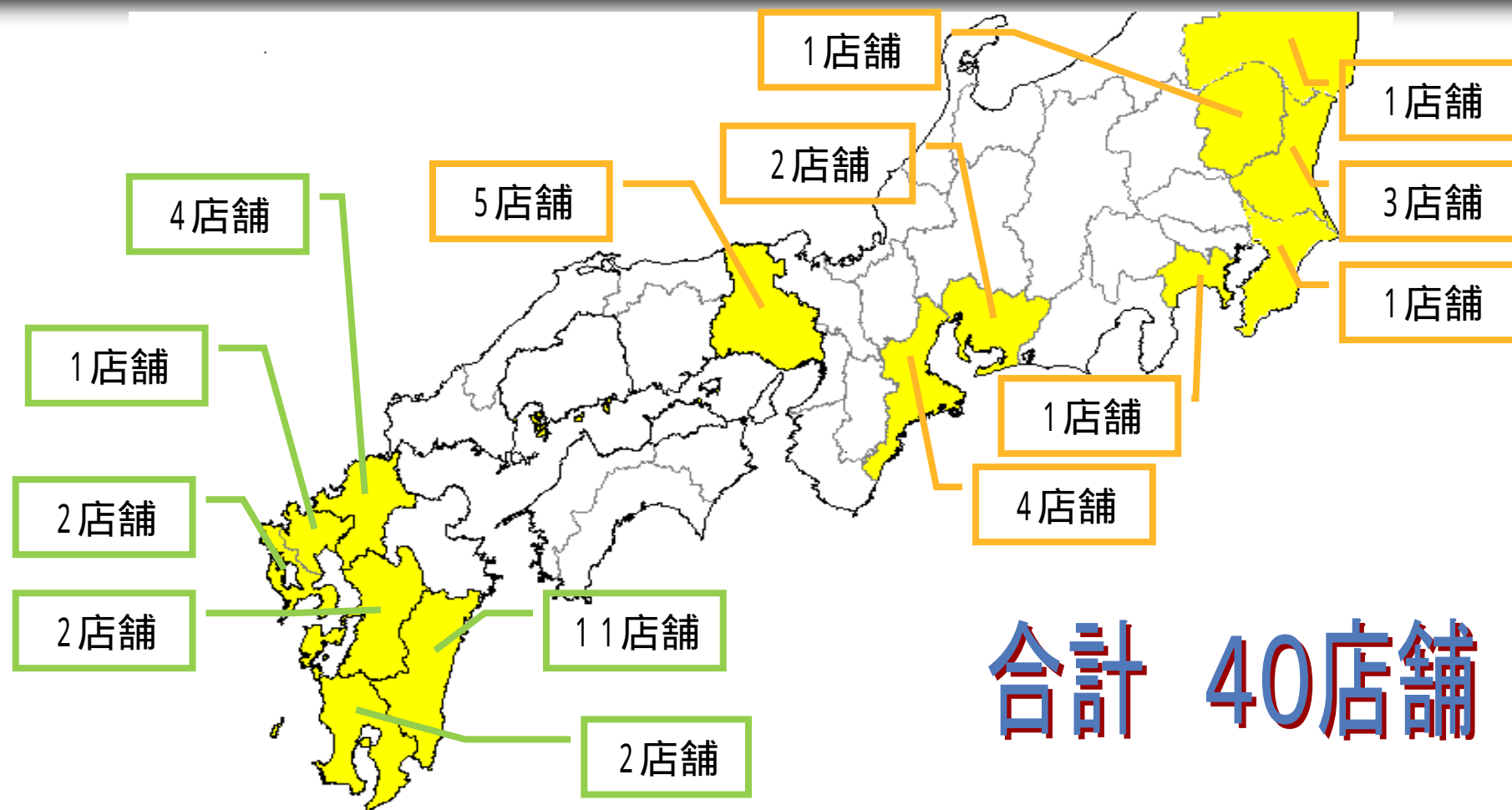
- ◆ ゲーム単独店・・・ 3～4年以内
- ◆ 複合店…………… 5～6年以内

# 事業別店舗数推移と見込み



■ H16年3月期から不効率店の積極的なスクラップを行う。

# 店舗の状況 [平成19年 9月現在]



九州地区 複合店 9店、単独店13店

九州外地区 複合店 8店、単独店10店

# 平成20年3月期 業績予想

	H19/3期	H20/3期 予想	前期比
売上高	9,914百万円	11,550百万円	16.5%
営業利益	694百万円	740百万円	6.6%
経常利益	440百万円	527百万円	19.8%
当期純利益	109百万円	176百万円	61.5%
EPS	12.8円	20.6円	60.9%
ROE	4.2%	6.8%	61.9%
ROA	0.7%	1.1%	45.8%
自己資本比率	15.6%	15.3%	-2.2%
年間配当	15.00円	15.00円	-
配当性向	116.5%	72.5%	-37.8%

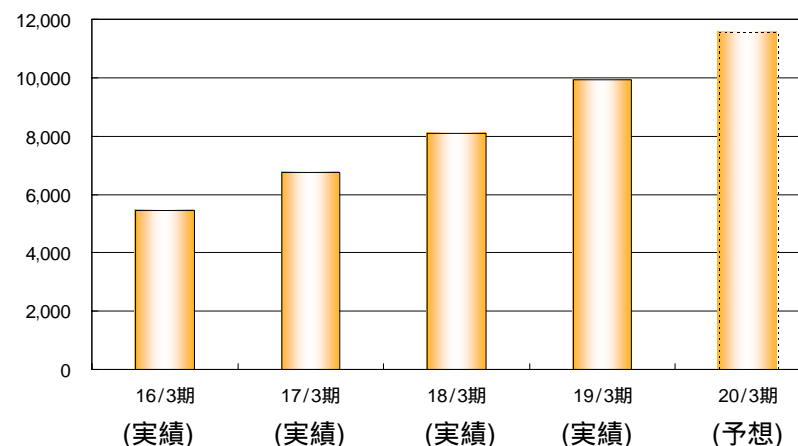
## < 計画策定の前提条件 >

- ・ 当期開設店の売上見込み + 1,178百万円
- ・ 前年開設店の通年効果 + 1,828百万円
- ・ 閉鎖店舗の売上減少 182百万円
- ・ 既存店売上高の前期比計画 94.1%

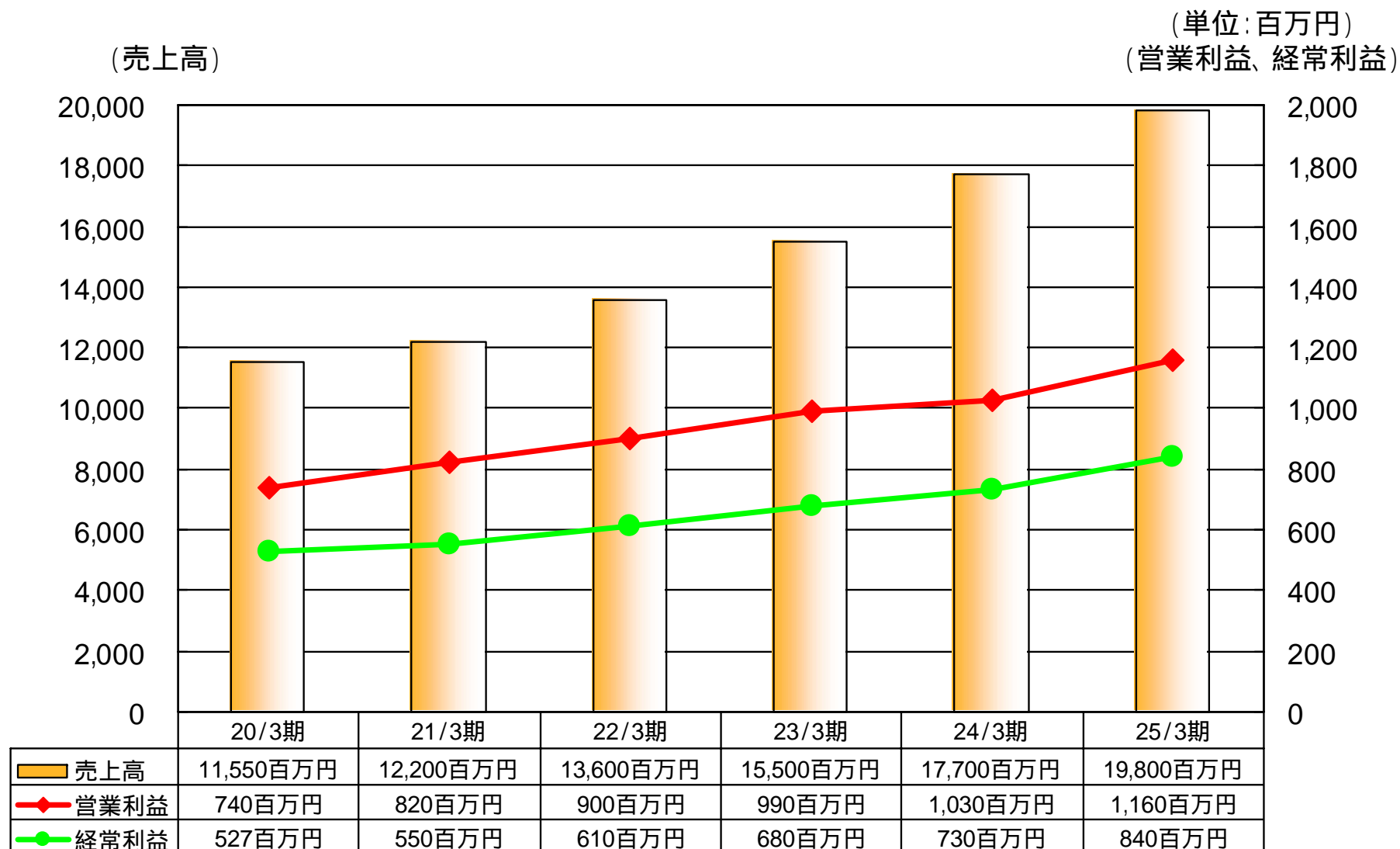
(H19/9期実績 99.4%)

## 年度別売上高推移

単位：百万円



# 今後の業績予想



# これまでの利益還元状況

- ◆ H14年10月 株式公開
- ◆ H15年9月 5円の上場記念中間増配発表(年間1株当たり配当25円)
- ◆ H16年1月 株主優待制度新設の発表
- ◆ H16年5月 年間 1株当たり配当25円を決定
- ◆ H16年5月 1:1.2の株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置)
- ◆ H16年11月 1:1.2の株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置)
- ◆ H17年2月 17年3月末の株主に対し、5円増配を発表
- ◆ H18年2月 1:2の株式分割を発表
- ◆ H18年5月 18年3月末の株主に対し、年間2円50銭の増配を発表

# 中間決算概要



# 中間貸借対照表

(単位:千円、%)

	前中間期末 H 18/9月期	当中間期末 H 19/9月期	増減額	前中間期 比		前中間期末 H 18/9月期	当中間期末 H 19/9月期	増減額	前中間期 比
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産	1,915,785	1,990,199	74,414	103.9	流動負債	3,412,742	4,454,626	1,041,884	130.5
固定資産	13,021,442	14,931,155	1,909,713	114.7	固定負債	8,923,977	9,865,581	941,604	110.6
有形固定資産	11,331,065	12,780,673	1,449,608	112.8	負債合計	12,336,719	14,320,207	1,983,488	116.1
無形固定資産	81,056	43,739	-37,317	54.0	<b>【資本の部】</b>				
投資その他の資産	1,609,320	2,106,741	497,421	130.9	株主資本	922,650	922,650	0	100.0
繰延資産	1,563	8,991	7,428	575.2	評価・換算差額等	30,742	-135	-30,877	-0.4
					新株予約権	0	0	0	0.0
					純資産合計	2,602,072	2,610,138	8,066	100.3
資産合計	14,938,791	16,930,346	1,991,555	113.3	負債・純資産合計	14,938,791	16,930,346	1,991,555	113.3
					1株当り純資産額	305.96	311.61	5.65	101.8

・棚卸資産の増加 116百万円  
・前払費用の増加 60百万円  
・売掛金の減少 77百万円

・出店及び既存店のリニューアルその他による設備の増加 5,236百万円  
・減価償却費及び除売却等による減少 3,787百万円

・店舗閉鎖に伴う営業権の除却 18百万円  
・営業権の償却額 18百万円

・差入保証金・敷金の新規増加 540百万円  
・投資有価証券の減少 43百万円

・短期借入金増加 916百万円  
・未払法人税の増加 76百万円  
・1年以内償還予定の社債の増加 100百万円  
・未払費用の増加 50百万円  
・1年以内の長期借入金の減少 72百万円  
・1年以内の割賦債務の減少 105百万円

・長期借入金増加 714百万円  
・無担保社債の増加 290百万円  
・割賦債務の減少 84百万円

・利益剰余金の増加 89百万円  
・有価証券評価差額金及び自己株式取得による減少 81百万円

# 中間損益計算書

(単位:千円、%)

	前中間期末 H 1 8 / 9 期	当中間期末 H 1 9 / 9 期	前中間期比 (%)	H 1 9 / 9 期 計 画	H 1 9 / 9 期 計 画 比	H 2 0 / 3 期 通 期 予 想
売上高	4,638,102	5,554,845	119.8	5,400,000	102.9	11,550,000
売上原価	3,957,588	4,788,716	121.0	4,643,000	103.1	10,086,000
売上総利益	680,514	766,129	112.6	757,000	101.2	1,464,000
販売費及び 一般管理費	290,087	339,409	117.0	362,000	93.8	724,000
営業利益	390,426	426,719	109.3	395,000	108.0	740,000
営業外収益	68,247	100,402	147.1	95,000	105.7	217,000
営業外費用	210,490	268,458	127.5	230,000	116.7	430,000
経常利益	248,182	258,663	104.2	260,000	99.5	527,000
中間純利益	45,847	153,555	334.9	75,000	204.7	176,000

## 【売上高の内訳】

- ・店舗売上高 5,493百万円  
(前期比23.1%増)
- ・機器売上高 61百万円  
(前期比65.3%減)

## 【売上原価の内訳】

- ・店舗原価 4,566百万円(前期比22.1%増)
- ・仕入原価 197百万円(前期比22.4%増)
- ・機器原価 24百万円(前期比54.9%減)

## 【販売費及び一般管理費の内訳】

- ・発送費、接待交際費、リ - ス料、  
租税公課の増加 19百万円
- ・人件費の増加 19百万円
- ・旅費、地代家賃の減少 5百万円

## 【営業外収益の内訳】

- ・受取地代家賃の増加 32百万円
- ・受取手数料の増加 2百万円
- ・雑収入の減少 4百万円

## 【営業外費用の内訳】

- ・支払利息の増加 43百万円
- ・受取地代家賃に対応する原価の増加 31百万円
- ・その他営業外費用の減少 15百万円

## 【特別損益の内容】

- ・所有店舗の売却益 27百万円
- ・その他特別損失 23百万円
- ・店舗閉鎖費用 27百万円
- ・不効率店舗・部門の閉鎖 70百万円  
(除売却損)

# 中間キャッシュフロー計算書

単位：百万	前中間期 H18年9月30日現在	当中間期 H19年9月30日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,270	1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,112	1,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	858	24
現金及び現金同等物の増加額	16	271
現金及び現金同等物の期首残高	847	967
現金及び現金同等物の中間期末残高	863	695

非  
資  
金  
費  
用

・税引前中間純利益	280百万円	・支払手形の減少	61百万円
・店舗閉鎖等による有形固定資産除却損等	6百万円		
・減価償却費	1,132百万円		

・有形固定資産の売却による収入	568百万円
・敷金・差入保証金等の支出等による資金の使用	232百万円
・新規出店・既存店舗のリニューアル・機器購入に伴う有形固定資産の取得による資金使用	1,933百万円

・設備資金としての長・短借入金の純増減額	381百万円
・社債の償還による支出	80百万円
・自己株式の取得及び配当金の支払額	114百万円
・設備等の割賦債務の支払の減少	163百万円

# 事業別売上高予実比較

平成19年9月期 売上高比較

(単位:百万、%)

事業別	前中間期 実績	当中間期 実績	実績比	計画	計画比	既存店 計画	既存店 実績	既存店 計画比
ゲーム事業	3,951	4,918	124.5	4,901	100.3	2,534	2,823	111.4
ホウリング事業	329	464	141.0	376	123.4	248	307	123.8
スーパ-銭湯事業	95	30	32.4	37	81.8	24	27	110.8
カラオケ事業	29	11	40.1	6	179.9	0	0	0.0
パティンク事業	25	22	89.6	23	96.3	23	22	96.3
その他の事業	207	106	51.3	54	197.2	15	14	87.7
合計	4,638	5,554	119.8	5,400	102.9	2,847	3,195	112.2

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成19年9月期 既存店月次売上高の前年比較

(単位:%)

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期
ゲーム事業	103.0	99.3	95.2	95.1	94.1	97.1	99.1
ホウリング事業	103.7	99.9	107.3	100.0	109.3	112.1	103.7
スーパ-銭湯事業	102.5	87.5	111.4	103.4	108.1	100.2	101.9
カラオケ事業	90.9	81.6	94.8	90.3	90.4	0.0	0.0
パティンク事業	80.7	87.1	97.5	95.4	89.0	91.9	89.6
その他の事業	89.0	83.5	91.4	72.8	72.0	96.4	81.4
合計	102.8	99.0	96.1	95.4	95.2	98.2	99.4

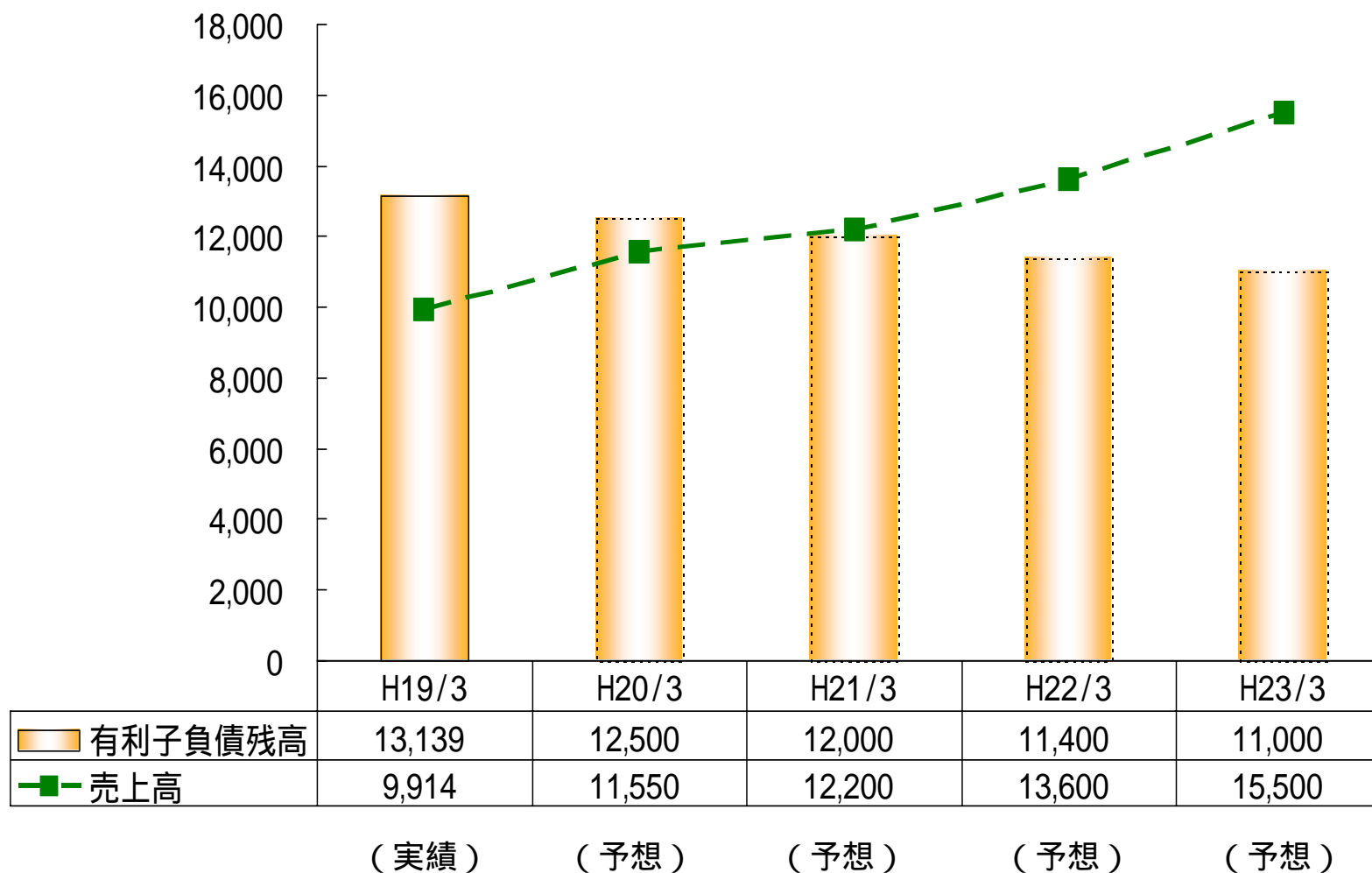
# H19年11月までの月次売上状況

	前年同月比										
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期	10月	11月
既存店舗	102.8%	99.0%	96.1%	98.4%	95.4%	95.2%	98.2%	97.6%	99.4%	95.9%	92.0%
全店舗	133.3%	126.1%	127.2%	128.5%	124.4%	119.3%	98.4%	113.1%	119.8%	123.2%	110.1%
店舗数	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	40店舗	41店舗	42店舗

	前年同月比										
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期	10月	11月
ゲーム事業	103.0%	99.3%	95.2%	98.2%	95.1%	94.1%	97.1%	96.9%	99.1%	95.8%	92.1%
ホウリング事業	103.7%	99.9%	107.3%	102.5%	100.0%	109.3%	112.1%	105.8%	103.7%	98.7%	92.4%
銭湯事業	102.5%	87.5%	111.4%	99.6%	103.4%	108.1%	100.2%	104.1%	101.9%	90.4%	83.6%
カラオケ事業	90.9%	81.6%	94.8%	88.7%	90.3%	90.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ハッティング事業	80.7%	87.1%	97.5%	87.7%	95.4%	89.0%	91.9%	91.8%	89.6%	86.7%	86.9%
その他の事業	89.0%	83.5%	91.4%	87.4%	72.8%	72.0%	96.4%	75.8%	81.4%	91.8%	94.6%

# 有利子負債の推移見込み

単位：百万円



# 設備投資、減価償却費の推移

(単位：百万円)

売上高 (単位：億円)

